

教科としての「図画工作・美術」が抱える課題 —教育学部・大学生の回想による調査報告—

富山 祥瑞

美術教育講座 (デザイン)

The Program of Art Education — Investigation Report That is Based on the Recollection of University Students (Education) —

Shouzui TOMIYAMA

Department of Fine Arts Education (Design), Aichi University of Education, Kariya 448-8542, Japan

<http://www.tomiya-stationery.com>

1. 「図画工作・美術」は好きな教科？

「図画工作・美術」は子どもが好きな教科——通説は以前からそのようです。統計調査でも、中学校では変動があるものの、小学校では「体育」に次ぎ、常に第2位にあります（『義務教育に関する意識調査』文部科学省委嘱／ベネッセ調査，2005年）。

筆者は、教育学部に着任の2003年以來、小学校教員を目指す大学生に「図画工作科教育」を担当してきました。小学校の教員免許取得の講義ですから、学生の所属はさまざまです。例年、最初の授業で受講生に『「図画工作・美術」の思い出』を作文形式（無記名）で書いてもらっています。未来の先生へ向けて、各自が受けてきた「図画工作・美術」授業の経験を知り、講義を進める参考にしていきます。

この9年間で約900人（約50人のクラスを年間で2クラスで換算）の作文を読みました。掴めた傾向は、世間の評価と異なり「図画工作・美術」に苦手意識を持つ大学生がかなり多いのです。これまでの統計調査とギャップがあるのはなぜでしょう？

2. 大学生の回想をベースとした調査

2-1) 作文からのキーワード抽出

本稿は、上記で収集した2009～2011年度の受講学生231人の『「図画工作・美術」の思い出』作文（〔写真〕参照）を改めて整理・分析したものです。

実際には「図画工作・美術」を苦手とする子どもは、かなり多いのではないかと——整理・公開することで、教科が抱える今までと違った角度からの課題を示す機会にしたいと考えました。

設問に対して回答し数値での各割合を計る定量調査ではありません。「作文」からの分析による定性型の調査で、以下のプロセスです。

- ① 作文は400字詰の原稿用紙1枚で、初回の講義時に約30分ほどかけて書いてもらいます。無記名です。
- ② 調査者は「図画工作・美術」教育上のキーワードとなる「思い出」を作文から抜き出します。1枚の原稿から複数のキーワード抽出ができたり、抽出ゼロの原稿もあります。
- ③ 調査者は、②を俯瞰し、関連性のあるキーワードを組み分け・視覚化し、問題点を探ります。

【被験者:231人】

- 2009年度 前期／数学選修(52人)
 - 2009年度 後期／幼児教育・音楽・英語・技術の各選修(44人)
 - 2010年度 前期／国語選修(40人)
 - 2010年度 後期／幼児教育・音楽・英語・技術の各選修(48人)
 - 2011年度 前期／理科選修(47人)
- (但し「図解-01」は内139人分の暫定版)



〔写真〕 「図画工作・美術」の思い出作文

定量調査ではないので、抽出キーワードの相対的な重みづけは出ません。

しかし作文からのキーワード抽出ならではの調査者が予期しない意見も得られ、また経験則で感じていたことの顕在化もできました。

2-2) 暫定版を先行公開

分析では、暫定的に139人までを整理した途中段階を図解化〔図解-01〕し、先行して公開・解説しました。公開先は今年の夏に開催された「三河教育研究会造形部／夏季研究会」参加の先生方(104名)、「教員免許状更新講習／表現構想教育の在り方と表現実技の体験講座」(愛知教育大学)に参加の先生方(23名)です。同時期にweb上のSNSでも公開しました。

この段階はマイナス側面のみでの公開だったこともあり、その点について、いくつかの意見が寄せられました。調査の方法と分析の前提に関わる内容ですので、紹介と筆者の見解を示します。

教員免許状更新講習では「実はうすうす感じていた事で、しかし、それを直視する勇気もなく、見なかったことにしよう、とごまかしてきました」というレポートや「ダメ出しを狙ったのなら、それで良いのだろうと思いますが『印象に残っている制作』も知りたいと思いました」がありました。

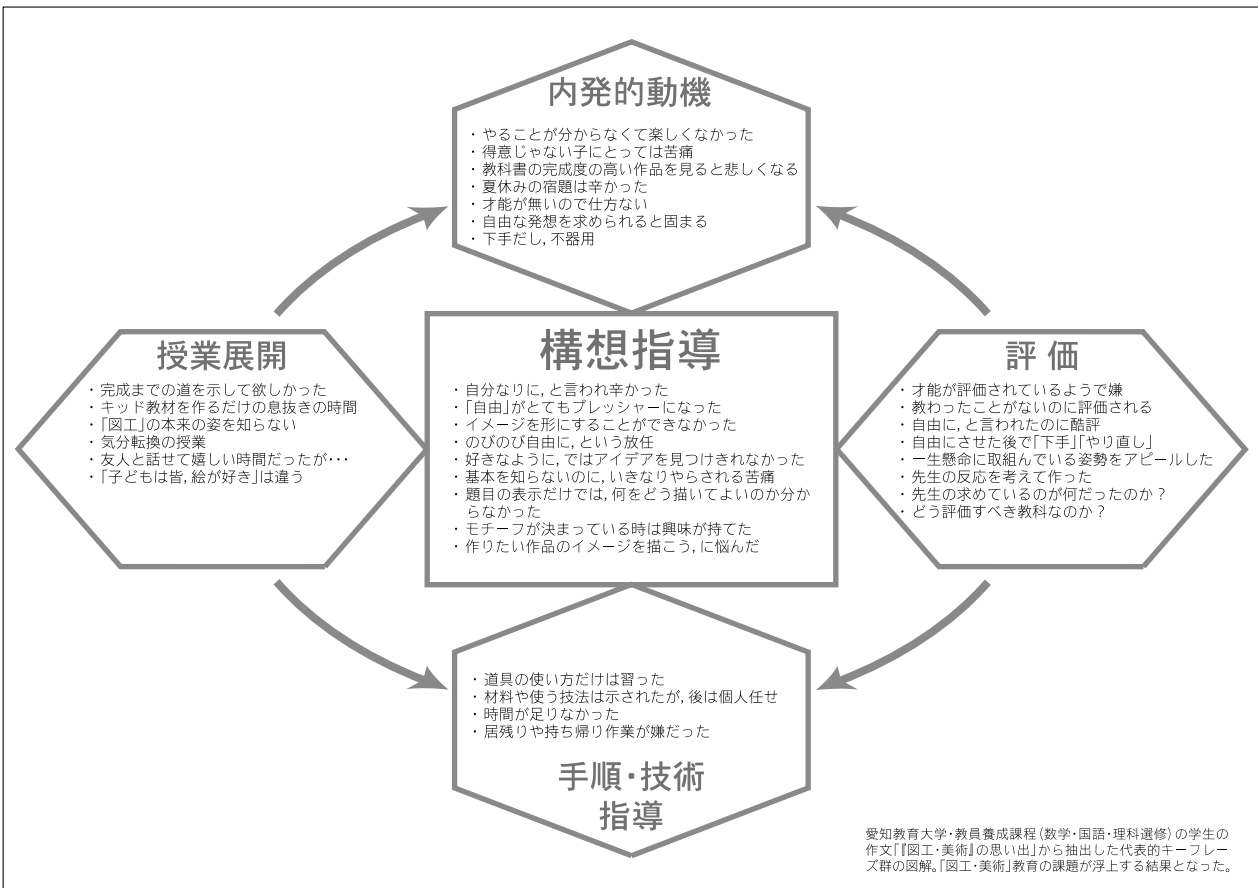
web上では、卒業生から「調査の前振りによって、けっこう結果が変わるデータだと思います『図工』の素晴らしさを語った後の思い出を聞いた後とか違う答えが返ってくるんじゃないでしょうか?」。筆者は「初回の授業時に実施しているので、呼び水はあまり入らない調査でしたが、もっと前振りです誘導尋問をして、被験者も気づいていない深層を引き出せたら…とすら思っています」と回答しました。

一般の方からは「先生になろうという人は、教わったことを効率よくアウトプットすることに長けているから、逆に、自由にしろと、自主性や創造性を求められるのが苦手なのではないか」という書き込みです。確かに教育学部の大学生を対象にしていますので、こういう見方もできますが「決して教員志望者の独特な傾向ではなく、彼らはそのことを冷静に分析したと診ます」と回答しました。

2-3) 調査結果

〔図解-02〕は、暫定版〔図解-01〕に新たに92人を追加した231人分のキーワード抽出〔標本-01〕に対し、組み分けの分類を改訂したものです。

さらに今回はプラス側面のキーワード群〔標本-02〕と、その図解化〔図解-03〕も加えています。以降5頁にわたって示します。



〔図解-01〕 マイナス側面の代表的フレーズの関連を視覚化した暫定版の図解

キーワード群／マイナス側面

【内発的動機】

- 01) 図工・美術は才能に関係している
- 02) 下手だし、不器用だから仕方ない
- 03) 図工嫌いの状態、なんとかなるでしょうか
- 04) 大雑把な性格からか、良い成績はとれなかった
- 05) 本当に嫌いで、積極的に参加せず
- 06) 中学に入り、どうがんばっても無理と悟った
- 07) 「どんだけ絵へたやねん」と自分にっこみ
- 09) なぜ、成長するにつれ絵が好きでなくなるのか？
- 10) 得意と好きが違う科目
- 11) 得意じゃない子にとっては苦痛
- 12) 教科書の完成度の高い作品例を見ると悲しくなる
- 13) 夏休みの宿題(ポスター)は辛かった
- 14) 絵の上手な子が羨ましかった
- 15) 常に「人と同じものは作りたくない」と思い取組んで失敗
- 16) 何かを考えるのが苦手で、とても時間がかかった
- 17) 上手な子を見て劣等感ばかり感じていた
- 18) 手先が器用ではない
- 19) 当時は嫌だったが、美術史を勉強しておけば良かった
- 20) 図工教室は独特の匂いがして苦手
- 21) 図工や美術は集中力があるので苦手
- 22) 毎度の失敗で自信喪失
- 23) 上手に仕上げられず苦手意識
- 24) 上手な子と比べ、落ち込んでいた
- 25) 友だちの作品やアイデアを見て劣等感を持った
- 26) 中学では考え過ぎて「図工」時のように作れなくなった
- 27) 「図工」は楽しく、「美術」は発想が浮かばなくなった
- 28) 学年が上がるにつれ、何をすればいいの分からなくなった
- 29) ダメ出しされると凹んだが、なんだかんだで好き
- 30) 作業は面倒で、途中でよく飽きてしまった
- 31) 作り始めはやる気に満ちているが、すぐに飽きてしまう
- 32) 糸ノコ・カッター・彫刻刀などは嫌い

【外発的要因】

- 01) 「もう少しがんばって」と言われ心が折れ今に至る
- 02) ダメ出しをされ嫌だった
- 03) 叱られながら嫌々やっていた
- 05) 指摘され、何度もやり直して余計に苦手意識
- 06) 宿題は家で手伝って貰うので、授業中は制作が遅かった
- 07) 親(小学校教員)の手が加わって嫌だった
- 08) 絵本の絵を真似した作品が入選してショック
- 09) 作品展のための作品づくりが嫌、先生が仕上げた
- 10) 先生の手が加わることに抵抗があった

【成績評価】

- 01) 図工の評価は良く分からないというイメージ
- 02) クラスの投票による評価は、すごく嫌だった
- 03) 自分が教師になった際、どう評価すべきか想像もつかない

- 04) 図工って先生によって評価が曖昧
- 05) 教科としての図工の評価って何だろう
- 06) 評価方法が不思議
- 07) 才能が評価されてるようで嫌
- 08) 皆で評価しあうのが嫌だった
- 09) 先生は作品だけを見て評価していた
- 10) 才能のない私は評価されなかった
- 11) 絵の才能がない、と言われ嫌いに
- 12) 先生の反応を考えて作った
- 13) 自由に、と言われたのに酷評
- 14) 作品の評価が明確でない
- 15) 教わったことがないのに評価される
- 16) 自由なら否定しないで欲しい
- 17) 先生の求めていたものが何だったのか？
- 18) 一生懸命に取り組んでいる姿勢をアピールした
- 19) 自由にさせた後で「下手」「やり直し」で嫌いに
- 20) アイデアが全く出ず、時間を要し、遊んでいると思われた
- 21) 成績は進学に必要なが、良い評価とは？
- 22) 4年生時に「あなたの絵は2年生レベル」と言われショック
- 23) 賞は評価が気になって嫌
- 24) 何の指針もないのに、指摘を受けた
- 25) 友だちと作品を見せあって評価しあうのは本当に苦痛
- 26) 満足いく作品に良い評価がもらえず悲しかった
- 27) 美術は実技、という指導に自分のセンスの無さを感じた

【技術・道具指導】

- 01) 絵の具は片付けが面倒臭いので嫌い
- 02) 彫刻刀の種類を使い所が分からなかった
- 03) 道具の使い方だけは教えてくれた
- 04) 材料や使う技法は示されたが、後は個人任せ
- 05) 道具の使い方以外、具体的な指導を受けた覚えがない
- 06) 道具の使い方は習ったが・・・
- 07) 電動ノコギリなどの機械が恐かった

【授業内容】

- 01) 授業がつまらなかった
- 02) 「図工」授業の本来の姿を知らない
- 03) 放任主義で楽しかったが、今思えば身の為になっていない
- 04) ただ、ひたすら作った
- 05) 使える時間を明示してくれず不満
- 06) 先生が自分の絵を自慢、最初はすごいと思ったが・・・
- 07) 中学校美術は講義中心でおもしろくなかった
- 08) 遊びの延長
- 09) 休み時間の認識
- 10) キッド教材を作るだけなので、息抜きの教科
- 11) 先生によって楽しさが全然違う教科
- 12) やることが分からなくて楽しくない
- 13) 教えてもらった記憶がない





- 14) センスを問われる時間というイメージ
- 15) 楽しかったが放任
- 16) 作りたいものを自由に作る感じで、楽しかっただけ
- 17) 作業をやっていた
- 18) 「教科」の意識があまりない
- 19) 手順の説明だけ
- 20) 感覚の押し付けを避けるためか、詳しく指導しない
- 21) 指導が無く戸惑った上に未完成で終わった
- 22) 鑑賞の時間、何が、どこが良いのか問われても苦勞
- 23) 特に先生の指導がなく退屈
- 24) 興味のない子はおしゃべりや遊びに夢中
- 25) 苦痛だったが、友人と会話しながらの制作は楽しかった
- 26) 他の授業の息抜きの好きだった
- 27) 助言が全くもらえなかった
- 28) 絵の描き方や、像の作り方を教えてもらった覚えはない

【授業構想】

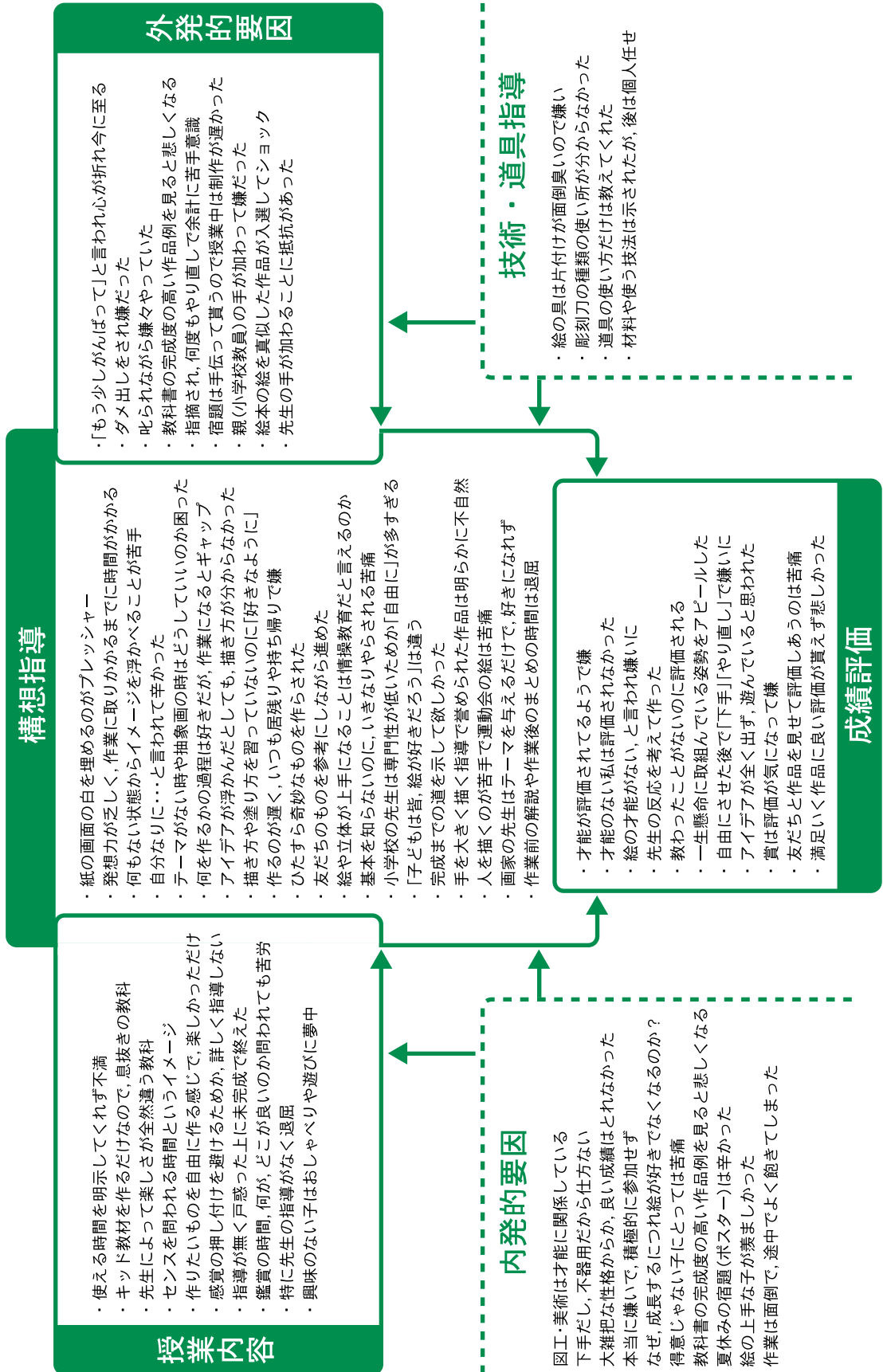
- 01) はじめの「作りたい作品のイメージを描こう」に悩んだ
- 02) つくりたいものを考えて、に悩み困った
- 03) 紙の画面の白を埋めるのがプレッシャー
- 04) 何をやっていか分からず、いつも遅れていた
- 05) 作りたいものをイメージできず、なかなか作業に入れない
- 06) 何を描けばよいか分からず時間が過ぎ、時間に追われた
- 07) アイデアが浮かばなくて期限に間に合わない
- 08) アイデアが思い浮かばないので作り出しが遅かった
- 09) アイデアを思いつかないので時間がかかってしまう
- 10) 悩み、アイデアが固まらないまま作業に入っていた
- 11) 発想力が乏しく、作業に取りかかるまでに時間がかかる
- 12) 何も無い状態からイメージを浮かべることが苦手
- 13) 想像して作りなさいは、何をしたいのか分からず苦手
- 14) のびのび自由に、という放任
- 15) 自分なりに・・・と言われて辛かった
- 16) 自由な発想を求められると固まる
- 17) 「自由」がとてもプレッシャーになった
- 18) 「自由にものを作ること」が苦痛
- 19) 何かゼロから作ったり出来なくて憂うつ
- 20) 自分の思ったものを作れ、描けと言われ苦痛
- 21) 自分のアイデアで自由に作ろう、と丸投げされた
- 22) 「自分で考えてやってみなさい」って酷
- 23) 「自由に」のスタンスが居心地が悪い
- 24) テーマがない時や抽象画の時はどうしていいのか困った
- 25) 思っていないものを描くには難しい
- 26) 何をどうやればいいのか分からないのに「好きにやりなさい」
- 27) 何をやるかの過程は好きだが、作業になるとギャップ
- 28) 自分が考えたように作ることができず大変だった
- 29) アイデアが浮かんだとしても、描き方が分からなかった
- 30) 頭の中での組立てを具現化できない
- 31) 個人に任せられ、イメージを形にすることができなかった

- 32) 描き方や塗り方を習っていないのに「好きなように」
- 33) 構想段階は楽しかったが、思った通りに作れず妥協
- 34) 作業は楽しくて熱中、構想は苦痛
- 35) イメージと離れうまくいかな過ぎてやる気をなくした
- 36) 思うものができても色つけでダメになる
- 37) 思ったように描けなかった
- 38) 作るのが遅く、いつも居残りや持ち帰りで嫌
- 39) 作るのが遅く、焦るのが嫌だった
- 40) 小学校では「自由に」、中学校では技術的
- 41) 「とりあえず手を動かして」という声かけ
- 42) 「何も思いつかないの？」という声かけ
- 43) 「自由に描いて」と言われる場面が多く非常に困った
- 44) テーマを与えると後は自由にやらされた
- 45) ひたすら奇妙なものを作らされた
- 46) 友だちのものを参考にしながら進めた
- 47) 普段やらないことはできないのが世の常である
- 48) まずは基礎をしっかりと教えて欲しかった
- 49) 絵や立体が上手になることは情操教育だと言えるのか
- 50) 統一性なく自由に作れ、とは？
- 51) 基本を知らないのに、いきなりやらされる苦痛
- 52) 小学校の先生は専門性が低いためか「自由に」が多すぎる
- 53) 家だって基礎がなければ建たない
- 54) 題目の提示だけでは何をどう描いてよいか分かりません
- 55) 何をデザインするか、どうすればよいか分からず苦勞
- 56) 「子どもは皆、絵が好きだろう」は違う
- 57) 完成までの道を示して欲しかった
- 58) 教示が無いので子どもなりに試行錯誤
- 59) デッサン力不足で、ものづくりの表現に限界
- 60) 手を大きく描く指導で誉められた作品は明らかに不自然
- 61) どのように人間を描いたらよいか分からず嫌気
- 62) 人を描くのが苦手で運動会の絵は苦痛
- 63) 画家の先生はテーマを与えるだけで、好きになれず
- 64) 入学早々のお互いの似顔絵は会話に困った
- 65) 作業前の解説や作業後のまとめの時間は退屈

(マイナス側面として挙げたがプラスにも受け止められるフレーズについては重複して両方の分類に入れています)

マイナス側面／グルーピング

※単純には分割できないのですが、状況と課題点は把握できると判断しました。複合ゾーンとして「構想指導」を設けました。



授業内容

- ・使える時間を明示してくれず不満
- ・キッド教材を作るだけなので、息抜きが全くなかった
- ・先生によって楽しさが全然違う
- ・センスを問われる時間というイメージ
- ・作りたいものを自由に作る感じで、楽しかった
- ・感覚の押し付けを避けるためか、詳しく指導しない
- ・指導が無く戸惑った上に未完成で終わった
- ・鑑賞の時間、何が、どこが良いのか問われなくても苦労
- ・特に先生の指導がなく退屈
- ・興味の無い子はおしゃべりや遊びに夢中

構想指導

- ・紙の画面の白を埋めるのがプレッシャー
- ・発想力が乏しく、作業に取りかかると時間がかかる
- ・何もない状態からイメージを浮かべることが苦手
- ・自分なりに…と言われて辛かった
- ・テーマがない時や抽象画の時はどうしていいのかわからない
- ・何をやるかの過程は好きだが、作業になるとギャンプ
- ・アイデアが浮かんだとしても、描き方が分からなかった
- ・描き方や塗り方を習っていないのに「好きなように」
- ・作るのに遅く、いつも居残りや持ち帰り
- ・ひたすら奇妙なものを作らされた
- ・友だちのものを参考にしながら進めた
- ・絵や立体が上手になることは情操教育だと言えぬ
- ・基本を知らないのに、いきなりやらされる苦痛
- ・小学校の先生は専門性が低いのか「自由に」が多すぎる
- ・「子どもは皆、絵が好きだろう」は違う
- ・完成までの道を示して欲しかった
- ・手を大きく描く指導で誉められた作品は明らかに不自然
- ・人を描くのが苦手で運動会の絵は苦痛
- ・画家の先生はテーマを与えてくれるだけで、好きになれず
- ・作業前の解説や作業後のまとめの時間は退屈

外発的要因

- ・「もう少しがんばって」と言われ心が折れ今に至る
- ・ダメ出しをされ嫌だった
- ・叱られながら嫌々やっていた
- ・教科書の完成度の高い作品例を見ると悲しくなる
- ・指摘され、何度もやり直して余計に苦手意識
- ・宿題は手伝えて貰うので授業中は制作が遅かった
- ・親(小学校教員)の手が加わって嫌だった
- ・絵本の絵を真似した作品が入選してショック
- ・先生の手が加わることに抵抗があった

内発的要因

- ・図工・美術は才能に関係している
- ・下手だし、不器用だから仕方ない
- ・大雑把な性格だから、良い成績はとれなかった
- ・本心に嫌いで、積極的に参加せず
- ・なぜ、成長するにつれ絵が好きでなくなるのか？
- ・得意じゃない子にとっては苦痛
- ・教科書の完成度の高い作品例を見ると悲しくなる
- ・夏休みの宿題(ポスター)は辛かった
- ・絵の上手な子が羨ましかった
- ・作業は面倒で、途中でよく飽きてしまった

技術・道具指導

- ・絵の具は片付けが面倒臭いので嫌い
- ・彫刻刀の種類を使い所が分からなかった
- ・道具の使い方は教えてくれた
- ・材料や使う技法は示されたが、後は個人任せ

成績評価

- ・才能が評価されるよう嫌
- ・才能がない私は評価されなかった
- ・絵の才能がない、と言われ嫌いに
- ・先生の反応を覚えて作った
- ・教わったことかかないのに評価される
- ・一生懸命に取り組んでいる姿勢をアピールした
- ・自由にさせた後で「下手」「やり直し」で嫌いに
- ・アイデアが全く出ず、遊んでいると思われた
- ・賞は評価が気にならなくて嫌
- ・友だちと作品を見て評価が貰えず悲しかった
- ・満足いく作品に良い評価が貰えず悲しかった

【図解-02】 代表的キーフレーズのグルーピング（マイナス側面）

キーフレーズ群／プラス側面

【内発的動機】

- 01) 達成感の大きい作品は家に残している
- 02) 思い出深い校舎のスケッチは気合いが入った
- 03) 何かを作ることが好き
- 04) 上達していくのが分かるので好き
- 05) 段階的に作品ができ上がっていくのが目に見える
- 06) もともと好きだから、趣味をやれて夢みたいだった
- 07) 授業は楽しくなかったが、図工・美術自体は好きだった
- 08) 絵と比べて作業は自分の発想ができて楽しかった
- 09) 小学校の時に作った鉛筆立ては今でも使っている
- 10) ダメ出しされると凹んだが、なんだかんだで好き
- 11) 納得できる作品が作れた時はとても嬉しかった

【外発的要因】

- 01) 職員室ガラスケースに半年ほど展示され嬉しかった
- 02) 中学校最後の授業で誉められ、美術はいいイメージ
- 03) 作品が人気投票で一位になり校長室に飾られた
- 04) 小学校6年生3学期に、絵が校内で選ばれ好印象で終わった
- 05) ほめる授業形式にしてほしいのかな・・・
- 06) 絵の裏の先生のコメントがとても嬉しかった
- 07) 素敵なアドバイスを受けた作品は、今でも飾っている
- 08) 「おかざき子展」は観る人がいると思えば楽しく取組めた
- 09) 両親や祖父母が見て喜んでくれるのがうれしかった
- 10) 絵が展覧会に選ばれて、すごく嬉しく、今でも飾っている
- 11) 完成した達成感はとても大きかった
- 12) 制作展への取組みは学年が団結して頑張った
- 13) 図工は苦手だが、唯一、切り絵が展覧会で展示された
- 14) 小さい時から不器用だが、展覧会で賞をとれて嬉しかった
- 15) 「おかざき子展」の作品を作るのもみるのも好きだった
- 16) 賞をとれてすごくうれしかった
- 17) 貼り絵がコンクールに出て、美術が苦痛でなくなった
- 18) 誉められ、とても好きになった
- 19) 初めて佳作に選ばれたのが良かった思い出
- 20) 版画を紙に写した時は達成感があった
- 21) 地元の展覧会は、いろんな人に見てもらえてうれしい
- 22) 「造形パラダイス」に出品するのを作るのは楽しい
- 23) 小学校までは地元の展示会の展示が楽しみだった
- 24) 評価は「2」が多かったが、風景画の入選は嬉しかった
- 25) 両親に誉められて嬉しかった作品は今でもある
- 26) 他人に評価されると達成感
- 27) 小学校の時に作った鉛筆立ては今でも使っている
- 28) 版画の時は黙々と私語をせずに没頭した

【成績評価】

- 01) 小学校5年時「A」成績がきっかけで、今では図工大好き
- 02) 友だち同士の評価しあいは、嬉しかった
- 03) 自分が納得できる作品なら評価は気にならない
- 04) お互いの評価会で、良い評価の時はとても嬉しかった

【技術・道具指導】

- 01) 彫刻刀を使ったものが好き
- 02) 図工の授業で遠近法に感動
- 03) 彫刻刀・ノコギリ・金づちを使うのは楽しかった
- 04) 彫刻刀で手を切ったが、上手くてできてうれしかった
- 05) いろいろな道具を使った経験は印象深い
- 06) 版画では彫刻刀を使えて楽しかった

【授業内容】

- 01) 気分転換になるので嫌いではなかった
- 02) 興味がなく、授業中に友だちと話せる環境はうれしい時間
- 03) 私語が許される楽しい時間
- 04) 息抜きの時間
- 05) しゃべりながらのんびり楽しくできた
- 06) 遊びの延長
- 07) 休み時間の認識
- 08) 題材から作り上げる思考と一緒に考えてくれる先生だった
- 09) 教えるのが上手な先生だった
- 10) 先生がいろいろ個人的に教えてくれてうれしかった
- 11) 先生のアドバイスが自分の作品の手助けをしてくれた
- 12) 何をするか分かる授業は好きだった
- 13) 自分勝手に好きほうだいやって「図工楽しい」と思った
- 14) 一番の思いでは作業中のおしゃべり(作品も真剣)
- 15) 苦痛だったが、友人と会話しながらの制作は楽しかった
- 16) 他の授業の息抜きの好きだった

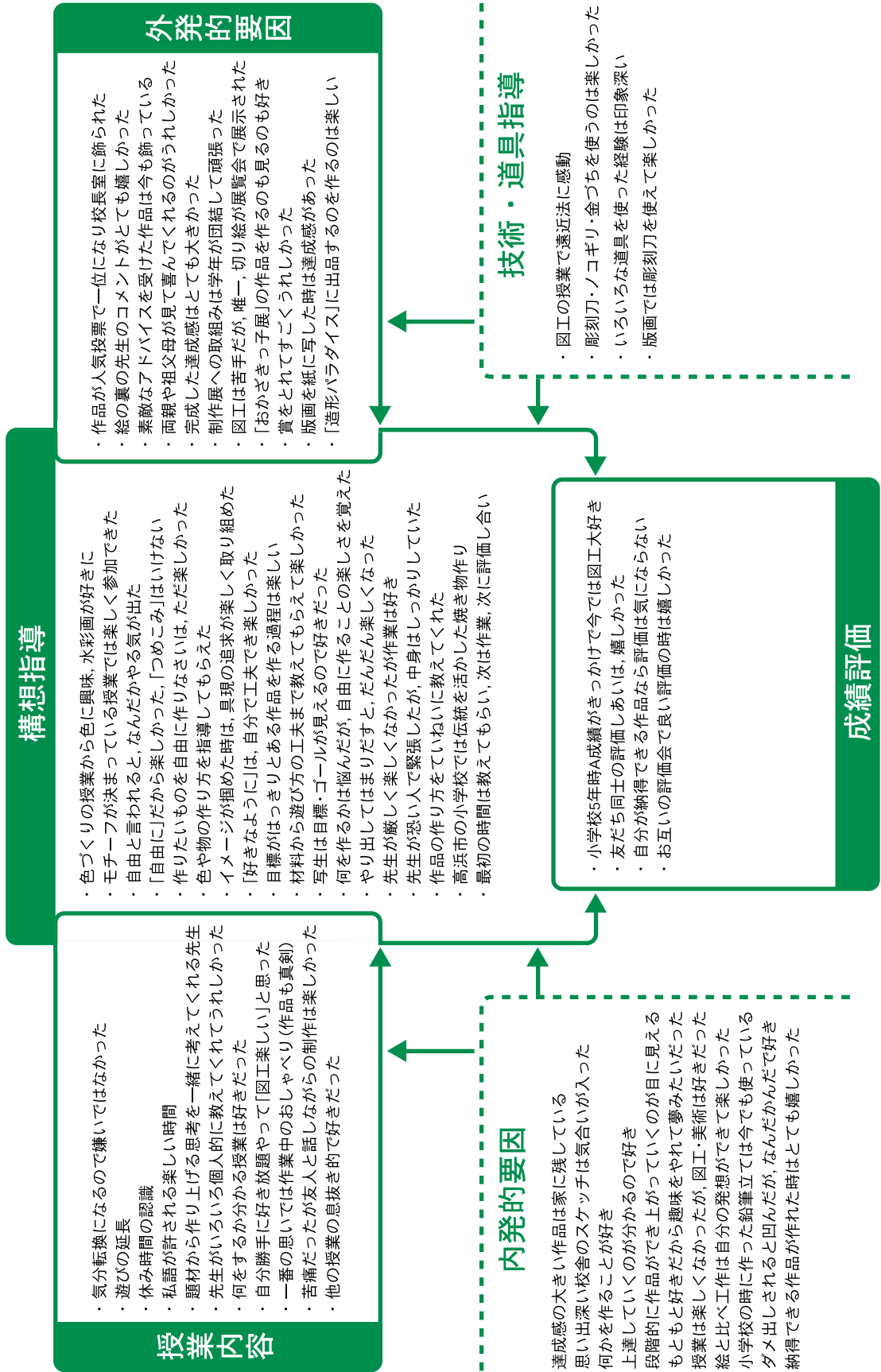
【授業構想】

- 01) 色づくりの授業から色に興味、水彩画が好きに
- 02) モチーフが決まっている授業では楽しく参加できた
- 03) 自由と言われると、なんだかやる気が出た
- 04) 「自由に」だから楽しかった、「つめこみ」はいけない
- 05) 作りたいものを自由に作りなさいは、ただ楽しかった
- 06) 色や物の作り方を指導してもらえた
- 07) イメージが掴めた時は、具現の追求が楽しく取り組めた
- 08) 「好きなように」は、自分で工夫でき楽しかった
- 09) 目標がはっきりとある作品を作る過程は楽しい
- 10) 材料から遊び方の工夫まで教えてもらえて楽しかった
- 11) 写生は目標・ゴールが見えるので好きだった
- 12) 何を作るかは悩んだが、自由に作ることの楽しさを覚えた
- 13) やり出してはまりだすと、だんだん楽しくなった
- 14) 先生が厳しく楽しくなかったが作業は好き
- 15) 先生が恐い人で緊張したが、中身はしっかりしていた
- 16) 作品の作り方をていねいに教えてくれた
- 17) 高浜市の小学校では伝統を活かした焼き物作り
- 18) 最初の時間は教えてもらい、次は作業、次に評価し合い

(プラス側面として挙げたがマイナスにも受け止められるフレーズについては重複して両方の分類に入れています)

プラス側面/グルーピング

※単純には分割できないのですが、状況と課題点は把握できると判断しました。複合ゾーンとして「構想指導」を設けました。



【図報-03】 代表的キーフレーズのグルーピング (プラス側面)

3. 考 察

3-1) 「図画工作・美術」は好きですか？

「教科書の好き嫌い」調査[資料-01]では「図画工作・美術」のポイントは高い、対して今回の整理・分析の内訳は散々な状況にあると診ます。

今回の被験者が、現役の小中学生ではなく、教育学部の大学生であり、むしろ客観的に教育面での課題が見えてきたと筆者は考えています。「図画工作・美術」教科の拠り所となりがちな「自由な主体的活動」の捉え方など、ダイレクトに小中学生を対象にしたら顕在化されなかったと判断します。

3-2) 図工・美術科不要論——「自由」は教育なのか

筆者は「イメージ・アイデアが浮かばない」類のキーワード頻度の高さこそ、美術教育の在り方が問われる深刻な問題点と診ます。

「つくりたいものを考えて、に悩んだ」「自分なりに…と言われて辛かった」「頭の中で組立てを具現化できない」などに共通する「構想・企画の段階の登り方」教育のショートカットです。

プラス側面にしても、教育的には負の要素が見られます。「興味がなく、授業中に友だちと話せる環境はうれしい時間」「他の授業の息抜きので好きだった」などが、かつて子どもであった大学生の複数の作文から読み取れます。息抜きできる作業時間の提供です。子どもからの「図画工作・美術」支持の高さの理由に含まれるのは否定できないでしょう。

子どもが構想（ヴィジョン）を練る段階から「自由な主体的活動」という放任が幅を利かせている限り、周囲からの「役に立たない教科」論が消えることはないと思われます。

「図画工作」は学習指導要領の改訂（1998年）を受

け既に2002年度から年間70時間から50時間（高学年）に、中学校「美術」で140～175時間から115時間に大幅削減されています。今後も追いやられる方向にあり、明るい見通しは聞かれません。

一部で揶揄される「周辺教科（または「芸能教科）」への偏向に抗し、数年前に「がんばれ！図工の時間」の署名運動が起きました[資料-02]。「図画工作の授業時間を増やして、子どもたちの期待に応えよう！」ですが、なぜ不要論が出現するのでしょうか？——私たち美術教育関係者は「図画工作・美術」教科の在り方を自らが振り返る地点にいますと考えます。

3-3) 終わりに——美術は情操教育なのか

「図画工作・美術」は、歴史的にも、自由や自主的な創造性を尊重するのが、当教科の特権のように考えられて来た傾向があります。もともと興味がある子ども（当調査でのプラス面の「内発的要因」から窺える要素／標本-02, 図解-03）には有効でしょう。しかし義務教育の教科として、興味や関心があるのを前提に進めてはなりません。それこそ不要教科と化します。

筆者としては「図画工作・美術」の教育目的が、自ら「情操教育」と語られる安易な状況も脱皮させる時代にあると考えます。

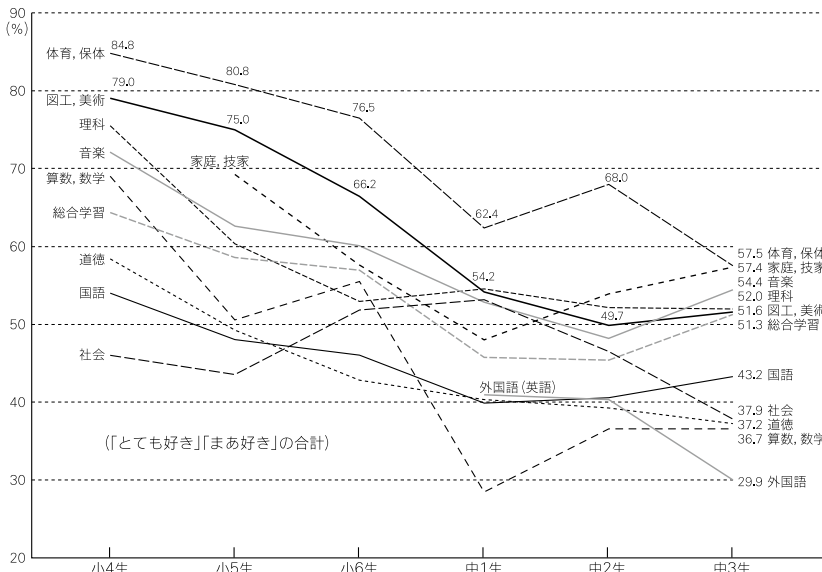
〈資料・出典〉

〔註〕および〔資料-01〕

『義務教育に関する意識調査』（文部科学省 委嘱／ベネッセ 調査、2005年）のweb公開箇所 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/07070908/007/003.pdf
本編（中間報告書）ではp. 101～127に詳細数値

〔資料-02〕

「がんばれ！図工の時間」署名用紙（A4判）表紙面、2007年
（2012年9月18日受理）



〔資料-01〕 教科等の好き嫌い（『義務教育に関する意識調査』2005）

〔資料-02〕 「がんばれ！図工の時間」